

## 第 383 回 ATIS 例会報告

2016 年 10 月 19 日、味の素(株)川崎工場にて、第 383 回 ATIS 例会が行われました。

まず、味の素グループうま味体験館および味の素(株)川崎工場にて施設見学会が実施されました。

川崎工場では、「ほんだし」工場の原料粉碎、造粒、袋詰め、梱包ラインの見学、鰹節削り体験がなされました。うま味体験館では、グルタミン酸 Na 製造プロセスが紹介され、味の素による旨味体験が実施されました。

身近な調味料が、何からできて、どのように作られ、どのような効果をもつのかを、映像などによる紹介、製造ラインの見学、実体験を通じて、平易に理解することができ、終始、和やかな雰囲気施設の施設見学会となりました。



次に、第 383 回例会では、代表幹事報告にて会員の入退会状況が説明され、10/19 現在の会員数は 41 社であり、前回から変動がなかった旨が報告されました。続いて、例会スケジュールなどの説明、INPIT 検索エキスパート研修(上級、第3回)の案内、特許庁任期付職員(特許審査官補)の募集概要の紹介があり、「ATIS(技術情報サービス)の紹介」を「情報の科学と技術」第 66 巻 10 号(2016)に投稿したことが報告されました。

シンポジウムでは、富士フィルム知財情報リサーチ(株) 代表取締役社長 金子清隆様より、富士フィルム知財情報リサーチ(株)の設立経緯と業務紹介に関するプレゼンがありました。その中で、まず、富士フィルムグループが、2000 年以降のデジタル化によるフィルム市場消失に対応し、イメージング、インフォメーション、ドキュメントの 3 分野に業容を変革、売上拡大を遂げたことについて紹介がありました。次に、富士フィルム知財情報リサーチ(株)が、グループ内の知財業務を分担する企業として、2010 年 4 月に設立し、知財調査、外国特許権利化、知財事務管理請負の 3 業務に取り組んでいることについて説明がなされました。共通の業務を実施している参加者も多く、活発な質疑が交わされました。



以上